



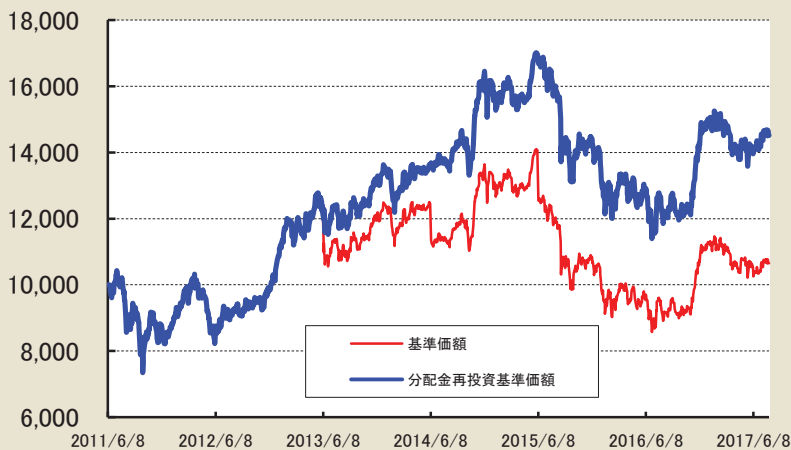
みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド
(愛称:食の未来)

設定日 2011年6月9日 決算日 原則 6月8日

2017年7月31日現在

基準価額の推移(2011年6月9日 ~ 2017年7月31日)

(設定日前日を10,000としております)



- ・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
- ・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

基準価額

- ・基準価額および前月比は分配落後です。
- ・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

7月末	前月比	6月末
10,655 円	2.0 %	10,441 円

基準価額の騰落率

- ・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

1カ月	2.0 %
3カ月	1.0 %
6カ月	▲2.9 %
1年	16.5 %
3年	6.1 %
5年	57.7 %
設定来	45.2 %

資産構成

内訳	7月末	6月末
ブラックロック・グローバル・ファンズ -ワールド・アグリカルチャー・ファンド- クラスX	97.2 %	96.7 %
日本短期公社債マザーファンド	0.8 %	0.8 %
その他資産	2.0 %	2.5 %
純資産	662 百万円	650 百万円
元本	621 百万円	623 百万円

分配金の推移(1万口当たり、税引前)

2017年6月	250 円
2016年6月	0 円
2015年6月	1,300 円
2014年6月	1,200 円
2013年6月	1,000 円
2012年6月	0 円
設定来合計	3,750 円

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みに際しての留意事項」をよくお読みください。



みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド (愛称:食の未来)

このページは、「ブラックロック・ジャパン株式会社」のデータを基にアセットマネジメントOneが作成しております。

2017年7月31日現在

ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドの内容 (2017年7月31日現在)

資産構成比率

内訳	7月末
外国株式等	99.4 %
その他資産	0.6 %
合計	100.0 %

- ・日付は、ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドの基準価額算出日です。
- ・比率は、ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・各比率は、ブラックロック・ジャパン株式会社作成の数値をもとに記載しております。

ファンドマネージャーのコメント

あくまで作成時点での見解等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。

運用経過

7月の農業関連企業の株式は上昇しました。上旬は欧米の長期金利上昇を嫌気し、一時的に下落したものの、良好な6月の米国雇用統計が発表されると上昇に転じました。中旬はイエレンFRB(米国連邦準備制度理事会)議長が議会証言で緩やかなペースで利上げを行う可能性を示唆したことから、上昇基調を維持しました。下旬はまちまちの結果となった企業決算を受け、小動きとなりました。

穀物市場では、米国で高温・乾燥による作柄悪化懸念が強まったほか、カナダやオーストラリア、ウクライナにおいても悪天候によって生産量の減少が見込まれていることから、7月上旬の穀物価格は堅調に推移しました。しかし、米国農務省が発表した穀物の需給環境見通しで前月に比べて期末在庫の増加が示されたため、穀物価格は下落基調に転じました。その結果、大豆価格は上昇したものの、とうもろこしや小麦価格は下落しました。

個別銘柄では、カナダの銀行大手スコシアバンクが肥料関連銘柄の投資判断を引き上げたことから、カナダの肥料大手ポタシュ・コーポレーション・オブ・サスカチワンやアグリウムは上昇しました。一方で、英国の食品加工会社ピュアサークルや米国の自然食品会社サンオブタなどはやや軟調に推移しました。

こうした環境のなか、当ファンドでは米国で農薬の製造・販売を手がけるアメリカン・バンガードやFMCを新たに組み入れました。一方で、カナダで食品の加工・販売などを手がけるAGTFード&イングリディエンツなどを売却しました。

今後の運用方針

悪天候により米国やカナダ、中国、オーストラリアなどで穀物の生産量が現在の想定から下方修正される可能性があります。その結果、穀物価格の上昇によって農業従事者の所得増加やセンチメントが改善し、農機具や肥料に対する需要が高まると見えています。その為、当ファンドでは農機具や肥料の中でも需給環境が良好な状況にある窒素を手がける銘柄の組み入れを高めています。また、M&A(合併・買収)によって収益の拡大が見込まれる農業科学セクターの組み入れを増やしています。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みの際の留意事項」をよくお読みください。



みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド (愛称:食の未来)

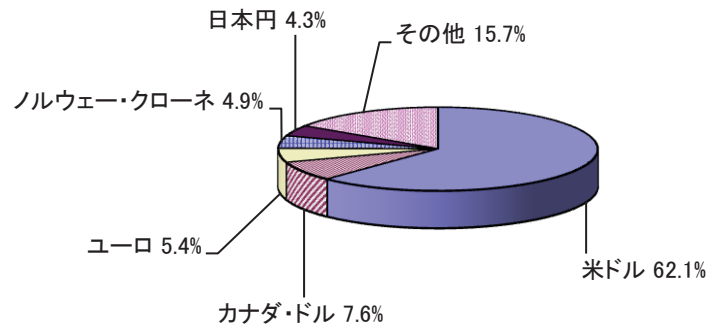
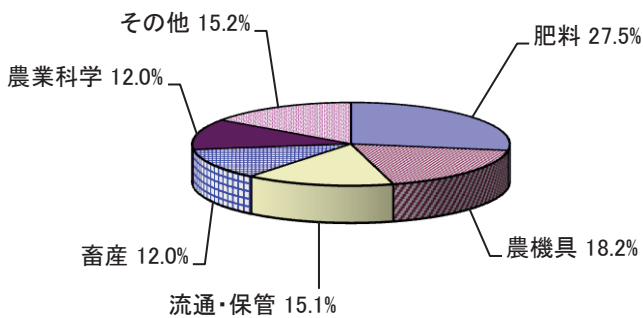
このページは、「ブラックロック・ジャパン株式会社」のデータを基にアセットマネジメントOneが作成しております。

2017年7月31日現在

ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドの内容(2017年7月31日現在)

セクター別比率

通貨別比率



外国株式等組入上位10銘柄

※特定の銘柄の推奨を目的としたものではありません。また、将来の値動き等を示唆するものではありません。

順位	銘柄名	セクター名	国・地域名	比率
1	ディアー	農機具	アメリカ	9.9%
2	モンサント	農業科学	アメリカ	9.6%
3	アグリウム	肥料	カナダ	7.6%
4	アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド	流通・保管	アメリカ	5.9%
5	CFインダストリーズ・ホールディングス	肥料	アメリカ	5.7%
6	ポタシュ・コーポレーション・オブ・サスカチワン	肥料	カナダ	5.0%
7	ヤラ・インターナショナル	肥料	ノルウェー	4.9%
8	バンジ	流通・保管	アメリカ	4.7%
9	タイソンフーズ	畜産	アメリカ	4.4%
10	クボタ	農機具	日本	4.2%
株式等組入銘柄数			34銘柄	
			10銘柄組入比率合計	61.9%

- ・日付は、ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドの基準価額算出日です。
- ・セクター名、国・地域名は、ブラックロック・ジャパン株式会社の分類方法に基づいて記載しております。
- ・銘柄名、比率は、ブラックロック・ジャパン株式会社作成のデータを記載しております。
- ・比率は、ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・セクター別比率および通貨別比率のその他には現金等も含まれます。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みに際しての留意事項」をよくお読みください。



みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド (愛称:食の未来)

当資料のお取り扱いに関する注意事項

- ※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。
- ※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- ※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。
- ※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。
- ※購入のお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただき、投資に関してはご自身でご判断ください。また、あらかじめ交付される契約締結前交付書面など(目論見書補完書面を含む)の内容をよくお読みください。

投資信託のお申し込みの際の留意事項

- 投資信託は、預金や保険契約ではなく、預金保険制度、保険契約者保護制度の対象ではありません。
 - 投資信託は登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 投資信託は、元本の保証はありません。
 - 投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
 - 当資料はアセットマネジメントOneが作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- 信頼できると考えられるデータなどに基づき作成していますが、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。予告なく当資料の内容を変更する場合があります。



みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド (愛称:食の未来)

当ファンドは、主として外国籍の投資信託証券を通じて、世界各国の株式に投資します。実質的に組み入れた株式の値動き、為替相場の変動などの影響により基準価額が変動しますので、これにより投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、当ファンドは元本が保証されているものではありません。

ファンドの特色

1. 主として世界各国の農業関連企業の株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の成長を目指します。

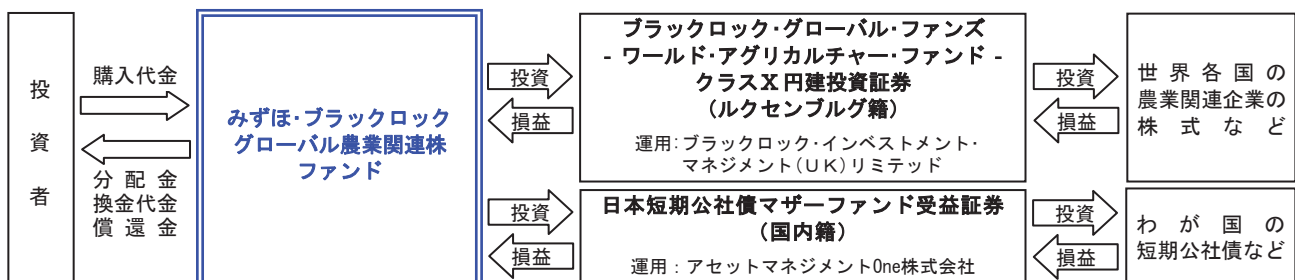
◆農業関連企業とは、主に肥料、農機具、農業科学、アグリビジネス、食用油、食品加工、農業・土地、砂糖、林業などに関連する企業を指します。

2. ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。

◆ルクセンブルグ籍外国投資法人「ブラックロック・グローバル・ファンズ - ワールド・アグリカルチャー・ファンド - クラスX」(以下「アグリ・ファンド」という場合があります。)円建投資証券と国内投資信託「日本短期公社債マザーファンド」受益証券に投資を行います。

※アグリ・ファンドの運用は、ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッドが行います。

※日本短期公社債マザーファンドの運用は、アセットマネジメントOne株式会社が行います。



◆各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、アグリ・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。

◆外貨建資産(投資信託証券への投資を通じて間接的に保有するものを含みます。)については、原則として当ファンドにおいて為替ヘッジを行いません。

◆アグリ・ファンドへの投資に係る指図権限を、ブラックロック・ジャパン株式会社に委託します。

ブラックロック

・「ブラックロック」は、運用資産総額で世界最大級の独立系運用会社であるブラックロック・インクおよびグループ会社の総称です。

・ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッドは、「ブラックロック」の英国拠点です。ブラックロック・ジャパン株式会社は、「ブラックロック」の日本拠点です。

当ファンドの資金動向、市況動向などによっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

3. 原則として、年1回(毎年6月8日。休業日の場合は翌営業日。)の決算時に、収益の分配を行います。

◆分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)などの全額とします。

◆分配金額は、委託会社が基準価額水準や市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

◇運用状況により分配金額は変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

[収益分配金に関する留意事項]

◎投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

◎分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

◎投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。



みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド
(愛称:食の未来)

ファンドの主な投資リスク

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある有価証券などに実質的に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産に実質的に投資した場合、為替相場の変動などの影響も受けます。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

カントリーリスク	投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制などの要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。一般に新興国市場は、先進国市場に比べて規模が小さく、流動性も低く、金融インフラが未発達であり、様々な地政学的問題を抱えていることから、カントリーリスクはより高くなる可能性があります。
株価変動リスク	株式の価格は、国内外の政治・経済・社会情勢の変化、金利動向、発行企業の業績・経営状況の変化、市場の需給関係などの影響を受け変動します。一般に、株価が下落した場合にはその影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
特定の業種への投資リスク	当ファンドは、実質的に特定の産業(テーマ)に属する企業へ重点的に投資するため、幅広い業種や銘柄に分散投資を行うファンドと比較して、基準価額の変動が大きくなる可能性があります。
為替変動リスク	外貨建資産は、為替相場の変動により円換算価格が変動します。一般に、保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも、投資先の通貨に対して円高となった場合には、当該外貨建資産の円換算価格が下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
流動性リスク	有価証券などを売買する際、当該有価証券などの市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができない可能性があります。特に流動性の低い有価証券などを売却する場合にはその影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
特定の投資信託証券に投資するリスク	当ファンドが組み入れる投資信託証券における運用会社の運用の巧拙が、当ファンドの運用成果に大きな影響を及ぼします。また、外国投資法人を通じて各国の有価証券に投資する場合、国内籍の投資信託から直接投資を行う場合に比べて、税制が相対的に不利となる可能性があります。
信用リスク	有価証券などの発行体が業績悪化・経営不振あるいは倒産に陥った場合、当該有価証券の価値が大きく減少すること、もしくは無くなる場合があります。また、有価証券の信用力の低下や格付けの引き下げ、債務不履行が生じた場合には、当該有価証券の価格は下落します。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
金利変動リスク	公社債の価格は、金利水準の変化にともない変動します。一般に、金利が上昇した場合には公社債の価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。



みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド (愛称: 食の未来)

お申込みメモ	
商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	(当初元本 1口 = 1円) 購入単位は販売会社またはお申込コースにより異なります。 お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」の2コースがあります。ただし、販売会社によってはどちらか一方のみの取り扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社またはアセットマネジメントOneにお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(当ファンドの基準価額は1万円当たりで表示)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までとし、当該締切時間を過ぎた場合の申込受付日は翌営業日となります。 ※申込締切時間は販売会社によって異なる場合があります。
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込不可日	以下に定める日には、購入・換金のお申し込みの受付を行いません。 ・ルクセンブルグの銀行の休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・12月24日
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申し込みを取り消す場合があります。
信託期間	2021年6月8日まで(2011年6月9日設定)
繰上償還	受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合などには、繰上償還することがあります。また、当ファンドが主要投資対象とするアグリ・ファンドが償還した場合または商品の同一性が失われた場合は、当ファンドを繰上償還します。
決算日	毎年6月8日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 ※「分配金再投資コース」を選択された場合の分配金(税引後)は自動的に無手数料で全額再投資されます。
課税関係	収益分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して所定の税率により課税されます。当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。少額投資非課税制度「愛称: NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「愛称: ジュニアNISA(ジュニアニーサ)」の適用対象です。 ※税法が改正された場合などには、課税上の取り扱いが変更になる場合があります。

ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用	
購入時	購入時手数料 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、 3.24%(税抜3.0%) を上限として、販売会社がそれぞれ独自に定める手数料率を乗じて得た額となります。詳しくは販売会社またはアセットマネジメントOneにお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対し 0.3% を乗じて得た額を換金時にご負担いただきます。
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
保有期間中	運用管理費用(信託報酬) 投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた実質的な信託報酬の総額は、日々のファンドの純資産総額に対して最大で 年率1.9354%(税抜1.795%)程度 となります。 (上記は、アグリ・ファンドを100%組み入れた場合の信託報酬の総額を示しています。) ・当ファンド: 年率1.8954%(税抜1.755%) ・アグリ・ファンド: 年率0.04%(上限) ただし左記報酬率は変更される場合があります。 ・日本短期公社債マザーファンド: ありません
	その他の費用・手数料 監査法人に支払うファンドの監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などを、その都度(監査報酬は日々)、投資信託財産が負担します。また、アグリ・ファンドにおいても、有価証券などの売買手数料、保管受託銀行への報酬などがかかります。 ※「その他の費用・手数料」については、定率でないもの、定時に見直されるもの、売買条件などに応じて異なるものなどがあるため、当該費用および合計額などを表示することができません。

◎手数料などの合計額については、購入金額や保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

◎詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)、運用報告書などでご確認ください。

委託会社、その他の関係法人

- 委託会社: アセットマネジメントOne株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
ファンドの運用の指図などを行います。
- 受託会社: みずほ信託銀行株式会社 ファンドの財産の保管および管理などを行います。
- 販売会社: 募集・販売の取り扱い、投資信託説明書(目論見書)などの書面の交付、換金申込の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・換金代金・償還金の支払いなどを行います。
- 投資顧問会社: ブラックロック・ジャパン株式会社 運用指図に関する権限の委託を受け、アグリ・ファンドへの投資の指図を行います。

**みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド**
(愛称: 食の未来)**販 売 会 社 一 覧**

販売会社名	登録番号	加入協会
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号	日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	日本証券業協会
西村証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号	日本証券業協会
三津井証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第14号	日本証券業協会

この一覧表は、各販売会社より取得した情報を基に作成しています。

(順不同)